



中春別小学校  
学校便り

# 窓

第6号

発行責任者 校長 荒 雅 樹  
令和 3 年 8 月 31 日 発行

## 水泳学習が終わりました

8月17日から第2回目の水泳学習週間を行いました。1学期の時とは違い、気温が上がらない日が続きました。そこで、水泳学習週間を延長し、各学年2~3回の水泳学習を行うことにしました。一昨年に比べると回数は少なかったのですが、充実した学習となり、子どもたちの良さや成長を感じることができました。

顔をつけることができるようになったり、潜れるようになったり、浮けるようになっていました。夏休み中にも、子どもたちがプールに通ったのでしょう。

この子どもたちの成長を支えて下さったのは、運営委員の方をはじめ、監視して下さった保護者の皆様・・・プールの運営にかかわって下さった多くの中春別学校区の方々です。本当にありがとうございました。

この学習の成果は、水泳技術の上達という目に見える部分だけではなく、子どもたちの心の成長という部分にも及んでいると言えます。学習を終えた子どもたちは、「中学校の先生が夏休み監視に来ていたよ。」「いつも、プールの人が掃除をしてくれてたよ。」「ママね。地区の人がプールを開けていると言ってたよ。」などと振り返り、自分たちを支えて下さった方への気づきがありました。今はもしかしたら、小さな気づきかもしれませんが、でも、子どもたちが大人になった時、今度は自分が運営する側へと協力していくことでしょう。

例年に比べれば、回数の少ないプール開館だったかもしれませんが、子どもたちの心に残る日々だったと思います。子どもたちの心も育てていただき、ありがとうございました。

## 夏休みを終えて

夏休みが明けて、学校にカマキリがやってきました。カマキリは動いているものしか口にしません。その生餌をとるために、第2次虫取りブームが再来しました。蝶をおいかけ、グラウンドを駆け回る子どもたちの姿がありました。第1次ブームの時よりも粘り強く、よく追いかけている姿が印象的でした。

夏休み明けの計算検定は、26日に実施しました。本当にたくさんの子が合格しました。学年の目標タイムをクリアした子、学年の新記録を出した子に賞状が贈られます。その数が今ではぐんと多くなりました。夏休み中にも頑張った成果ですね。

夏休み前に一度、見ごろを迎えた人権の花。暑さを乗り切り、強風を何とかしのぎ、また、見ごろを迎えています。子どもたちのお世話によって、マリーゴールドもインパチェンスも、プランターからはみ出るぐらい花を咲かせています。学校に来る人の目を楽しませてくれています。

8月に入り、まん延防止措置。8月27日から9月12日まで緊急事態宣言が北海道にも出されました。根室管内の感染者も増加している状況です。現在、学校では、校内の感染拡大防止の取り組みを改めて徹底するとともに、学校外との交流を自粛し、学校内で子どもたちと先生方での教育活動を行っています。

今までもお願いしてまいりましたが、「本人や同居する家族に風邪症状がある場合には、症状がなくなるまで自宅で休養すること。(この場合出席停止となります。)」を改めてお願い申し上げます。また、先日、「大会等へ参加する・少年団活動における練習について」を配布いたしました。そこにありますように少年団も「全道・全道につながる大会に参加する場合に限り厳選して練習を行うこと」との通知がありました。

このような状況下であります。現在のところ、9月12日(日)の本校の運動会は、分散・縮小などの感染防止対策を十分行った上で開催する予定です。具体的な分散・縮小などの感染防止対策につきましては後日お知らせいたします。なお、今後の感染状況によりましては、運動会を中止せざるを得ない場合もあることも考えられます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(校長 荒 雅 樹)